

身延町地域包括支援センター便り

ささえあい

みんながつながり元気で暮らせるために 挿絵：笠井 映文 氏（西嶋）



■問い合わせ先
身延町地域包括支援センター
(中富すこやかセンター内)
福祉保健課 在宅支援担当
☎ 0556-20-4611

認知症について～認知症を考えるつどいを開催しました～

認知症は脳の病気によって起こるもので、誰が認知症を発症してもおかしくはない病気です。

平成31年3月に『認知症を考えるつどい』を開催し、89名の方にご参加いただきました。

『認知症になっても安心して生活できる町を目指して、私たちはどう生きたいか？私たちができる支援とは』をテーマに、認知症看護認定看護師の宮崎真理子さん、在宅で若年性認知症の家族を介護されている方、認知症の人と家族の会から磯野幸子さん、それぞれの立場からお話を伺いました。

参加された方のアンケートより一部を紹介します。

【認知症に関して、町や地域でどのような取り組みがあるとよいと思いますか？】

- ・助け合い、声かけ
- ・地域全体で見守れる体制づくり
- ・地域ごとにオレンジカフェのような集まれる場をつくり、地域で協力していく
- ・いきいき百歳体操に参加する
- ・認知症に関する勉強会
- ・若年層の人が当事者、家族と接する機会
- ・介護している方の体と心のケア、またピアカウンセリング
- ・認知症、介護の公的なサポートについて知る機会
- ・福祉、介護施設から、どんな特色特徴があるかのプレゼン
- ・認知症サポーター養成
- ・この集いを定期的で開催
- ・認知症になっても笑顔で過ごせる地域を目標に出来るとよい



●つどいでは、介護されている中時間を作っていただき発表して下さった方の、『ご夫婦の絆』や『笑顔で接している』という言葉に、参加者の皆さんが感銘されていました。「助けを求められることを知り安心した」という声も聞かれました。

認知症あんしんサポートブック

5月に全戸配布された『認知症あんしんサポートブック』は目を通していただけましたでしょうか？

これは、認知症の予防、認知症の前駆症状、発症の症状に合わせて、いつ、どこで、どのようなサービスが受けられるかの情報をまとめたものです。

身近な相談窓口や町内のオレンジカフェについても掲載されています。

ぜひお手元に保管し活用いただければと思います。

